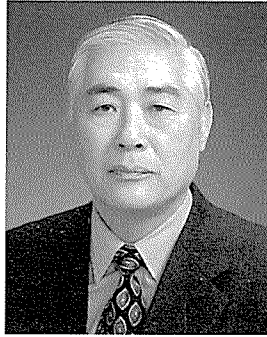


著作目録（国分振）

著者	東北大学史料館
号	737
発行年	2000-03
URL	http://hdl.handle.net/10097/00065554

國分 振教授著作目録

平成12年3月
東北大学記念資料室
(著作目録第737号)



國 分 振 教 授 略 歴

生年月日 昭和11年 9 月 7 日
本 籍 地 宮城県
所 属 東北大学大学院情報科学研究科

学 歴

昭和35年 3 月 東北大学文学部哲学科（心理学専攻）卒業
昭和35年 4 月 東北大学大学院文学研究科（心理学専攻）修士課程入学
昭和38年 3 月 同修了（文学修士）
昭和38年 4 月 東北大学大学院文学研究科（心理学専攻）博士課程進学
昭和41年 3 月 同単位取得満期退学

職 歴

昭和41年 4 月 東北大学文学部助手に採用
昭和42年 4 月 新潟大学教育学部助手に転任（教育心理学）
昭和44年 5 月 同講師に昇任
昭和46年 3 月 同助教授に昇任
昭和51年 4 月 東北大学教養部助教授に配置換え（心理学）
昭和60年 4 月 同教授に昇任
昭和60年 4 月 東北大学大学院文学研究科併任（昭和61年3月まで，心理学特講）
昭和63年 3 月 在外研究員として心理学に関する研究のため米国，カナダ，オーストラリア
に出張（昭和63年 8 月まで）
平成 2 年 4 月 東北大学大学院文学研究科併任（平成 3 年 3 月まで，心理学特講）
平成 3 年 4 月 東北大学評議員に併任（平成 6 年 3 月まで）
平成 5 年 4 月 東北大学大学院情報科学研究科に配置換え（学習心理情報学）
平成 9 年 4 月 東北大学評議員に併任（平成10年 3 月まで）
平成10年 4 月 東北大学大学院情報科学研究科長（東北大学評議員）に併任

平成12年 3 月 停年退職

学会活動

東北心理学会（平成 4 年－理事）

日本心理学会

日本教育心理学会

日本電話相談学会

著 作 目 録

〔著 書〕

1. 現代心理学の諸相（「第3章 記憶と思考」67頁－97頁を執筆）1988年 誠信書房
小野章夫（編著），石田雅人，国分 振，八田武志ほか7名
2. 刺激のない世界：人間の意識と行動はどう変わるか（「第6章 学習・記憶は環境に依存するか」110頁－126頁を執筆）1986年 新曜社
北村晴朗・大久保幸郎（編著），国分 振，大山正博，長塚康弘ほか7名

〔論 文〕

1. Studies on Sensory Deprivation:II, Part 1, Introductory remarks and results of polygraphic records. Tohoku Psychologica Folia, 22, 3-4. 57-63 (1964)
長塚康弘，国分 振
2. Studies on Sensory Deprivation:III, Part 6, On the results of polygraphic records. Tohoku Psychologica Folia, 23, 3-4. 72-74. (1965)
佐藤 功，国分 振
3. Studies on Sensory Deprivation:III, Part 7, On the results of behavior observation and introspective reports. Tohoku Psychologica Folia, 23, 3-4. 75-78. (1965)
国分 振，大山正博
4. Studies on Sensory Deprivation:IV, Part 2, Electroencephalographic changes before, during and after 18 hours' sensory deprivation. Tohoku Psychologica Folia, 24, 1-2. 4-9 (1965)
大山正博，国分 振，小林 久
5. Studies on Sensory Deprivation:IV, Part 4, Effect of sensory deprivation on retention of verbal material. Tohoku Psychologica Folia, 24, 1-2. 13-17 (1965)
国分 振
6. 心理的緊張について 文化，29，4，80-103 (1966)
国分 振
7. Studies on Sensory Deprivation:V, Part 4, Effect of sensory deprivation on retention of verbal learning and recall. Tohoku Psychologica Folia, 25, 1-2. 14-18 (1966)
国分 振，菊池礼司

8. Studies on Sensory Deprivation:VI, Part 2, Effect of sensory deprivation on memory process. *Tohoku Psychologica Folia*, 26, 1-2. 11-16 (1967)
国分 振, 菊池礼司, 村井則子
9. 知覚遮断と記憶過程 新潟大学教育学部紀要, 9, 1, 164-172 (1967)
国分 振
10. Bilateral reminiscence in pursuitrotor learning. *Tohoku Psychologica Folia*, 27, 3-4. 113-121 (1969)
国分 振, 飯塚彰子
11. The subjective organization in free recall learning by school children. *Tohoku Psychologica Folia*, 32, 1-4. 12-16 (1973)
国分 振
12. 記憶と知能・性格 教育と医学, 23, 3, 35-41 (1975)
国分 振
13. Subjective organization in free recall of sentences presented in context-disorganized order. *Tohoku Psychologica Folia*, 35, 1-4. 12-16 (1976)
国分 振
14. 文記憶におよぼす文脈の効果 東北大学教養部紀要, 29, 22-35 (1979)
国分 振
15. 1979年宮城県沖地震における都市機能停止と市民生活 東北大学教養部紀要, 31, 30-51 (1979)
国分 振, 平野厚生
16. 「78年宮城県沖地震における住民等の対応および被害の調査研究」(第4章 住民の災害観 1 災害観, 38頁-42頁を執筆) 東北大学'78年宮城県沖地震災害調査研究会 (1980)
大内秀明, 対馬貞夫, 国分振外20名
17. スクランブルド・ストーリーの理解過程 東北大学教養部紀要, 37, 1-15 (1982)
国分 振
18. スクランブルド・ストーリーの理解と眼球運動 東北大学教養部紀要, 39, 169-182 (1983)
国分 振
19. 知覚遮断と記憶過程再考 東北大学教養部紀要, 41, 79-95 (1984)
国分 振
20. The effect of causal coherence on comprehension. *Tohoku Psychologica Folia*, 45, 1-4. 124-131 (1986)
本郷一夫, 国分 振, 進藤聡彦, 山田嘉明

21. 地域的アイデンティティの構造 環境情報科学, 17, 2, 46-50 (1988)
仁平義明, 国分 振, 河上 税, 平野厚生
22. 文章理解過程における情報統合 東北大学教養部紀要, 58, 38-46 (1992)
国分 振

[総説・解説]

1. 文章理解の心理学 国語教育研究紀要25号 (宮城県連合小学校教育研究会国語研究部会編) 19-23 (1988)
2. 文章理解の実験心理学—結束性とマクロ構造— 国語教育研究紀要28号 (宮城県連合小学校教育研究会国語研究部会編) 19-23 (1991)
3. 文章理解における統合過程 国語教育研究紀要29号 (宮城県連合小学校教育研究会国語研究部会編) 20-27 (1992)
4. 文章理解における統合過程 ディスコースプロセス研究, 3, 65 (1992)

[翻 訳]

1. ロバート・トムソン著・北村晴朗 (監訳)「心理学の歴史」 北望社 (1969)
(381頁-421頁を分担)
2. ジョン・ユング「言語学習の心理」 明治図書出版 (1971)

[辞 典] (項目執筆)

1. 北村晴朗 (監修)「心理学小辞典」 協同出版 (1978)

[学会発表]

1. 想起におよぼす Relaxation の効果 東北心理学会第14回大会 (1960)
2. Activation theory について 東北心理学会第16回大会 (1962), 東北心理学研究, 第12号, 1-2 (1963)
3. Relaxation の研究 (I) —その生理心理的側面— 東北心理学会第17回大会 (1963), 東北心理学研究, 第13号, 7-8 (1964)
4. Sensory Deprivation の実験的研究 (IV) (1)問題と方法ならびに脳波筋電図の経過についておよび(2)心搏・呼吸および GSR の経過について 日本心理学会第27回大会発表論文集, 179, 180 (1963)
北村晴朗ほかと連名
5. Relaxation の研究 (II) 単調作業法による緊張寛解のポリグラフ的検討 東北心理学会第18回大会, 東北心理学研究, 第14号, 3 (1965)

6. ある精神賦活剤の効果について 東北心理学会第18回大会, 東北心理学研究, 第14号, 4 (1965)
大久保幸郎ほかと連名
7. Sensory Deprivation の実験的研究(V) (5)ポリグラフの所見および(6)行動観察所見 日本心理学会第28回大会発表論文集, 112-113 (1964)
北村晴朗ほかと連名
8. 刺激遮断剤 Sernyl の効果の研究 その1. ロールシャッハテストと脳波を中心として 日本心理学会第28回大会発表論文集, 107 (1964)
大山正博ほかと連名
9. Sensory Deprivation と脳波 第19回東北精神神経学会総会 (1964)
奥山 茂ほかと連名
10. Immediate memory の研究(I) 記憶素材の体制化と想起成績について 第19回東北精神神経学会総会 (1964) 大久保幸郎と連名
11. Sensory Deprivation の実験的研究(VI) (1)記憶テストの結果についておよび(8)脳波分析の結果 日本心理学会第29回大会発表論文集, 216, 221 (1965)
12. 消費者心理についての基礎的研究 東北心理学会第19回大会 (1965)
加藤孝義と連名
13. マス・コミュニケーションに関する基礎的研究 東北心理学会第19回大会 (1965)
泉山中三ほかと連名
14. Sensory Deprivation の実験的研究(VII) (2)学習系検査の結果 日本心理学会第30回大会発表論文集, 210 (1966)
北村晴朗ほかと連名
15. Immediate memory の研究(II) 記憶素材の体制化と想起成績について 東北心理学会第20回大会 (1966)
16. Sensory Deprivation の実験的研究(VIII) (2)記憶系検査の結果 日本心理学会第31回大会発表論文集, 88 (1967)
北村晴朗ほかと連名
17. Sensory Deprivation が学習・記憶に及ぼす影響について 東北心理学会第21回大会 (1967)
18. Sensory Deprivation の実験的研究(IX) (イ)方法・EEG の結果 日本心理学会第32回大会発表論文集, 46 (1968)
北村晴朗ほかと連名
19. 記憶の体制化について—その(1)— 東北心理学会第2回大会 (1968), 東北心理学研究, 第18号, 27 (1969)

20. 記憶の体制化について—その(2): 主観的体制化の発達 北海道心理学会・東北心理学会第2回合同大会(東北心理学会第26回大会)(1972)
21. 記憶の体制化について—その(3): 主観的体制化の発達・続報 東北心理学会第27回大会・新潟心理学会第10回大会合同大会, 東北心理学研究, 第23号, 53-54 (1973)
22. 乱脈文の多試行自由再生における体制化 日本教育心理学会第16回総会発表論文集, 338-339 (1974)
23. 文脈の体制化における素材の問題 日本心理学会第31回大会発表論文集, 283 (1975)
24. 文脈の体制化における素材の問題(その2) 北海道心理学会・東北心理学会第3回合同大会(東北心理学会第30回大会), 東北心理学研究, 第26号, 46 (1976)
25. 主観的体の測度制化について 東北心理学会第31回大会, 東北心理学研究, 第27号, 14 (1977)
26. 文脈の体制化における文脈の機能 日本心理学会第42回大会発表論文集, s 32-33 (1978)
27. Contextual organization in free recall of disorganized sentences. 22nd International Congress of Psychology. (1980)
28. 文章記憶における逐語的表象と命題表象 東北心理学会第32回大会(1978)
29. 乱脈文の理解過程 東北心理学会第34回大会, 東北心理学研究, 第30号, 97 (1980)
30. スクランブルド・ストーリーの理解過程—その2 東北心理学会第35回大会, 東北心理学研究, 第31号, 22 (1981)
31. スクランブルド・ストーリーの理解過程 日本教育心理学会第23回総会発表論文集, 54-55 (1981)
32. 地域的アイデンティティの広がり 日本教育心理学会第23回総会発表論文集, 624-625 (1981)
仁平義明と連名
33. スクランブルド・ストーリーの理解過程—その3 東北心理学会第36回大会, 東北心理学研究, 第32号, 51 (1982)
34. スクランブルド・ストーリーの理解と眼球運動 日本心理学会第47回大会発表論文集, 286 (1983)
35. 学習系機能におよぼす感覚遮断効果の再検討 東北心理学会第38回大会(1984)
36. 文理解に及ぼす因果的結束性の効果 東北心理学会第40回大会, 東北心理学研究, 第36号, 66 (1986)
本郷一夫ほかと連名

37. ある6コマ漫画の理解過程 日本心理学会第53回大会発表論文集, 841 (1989)
松野隆則と連名
38. 誤解の心理(1) —コミュニケーションにおける歪みの原因について 東北心理学会43回大会, 東北心理学研究, 第39号, 3-4 (1989)
39. ある6コマ漫画の理解過程(2) 本心理学会第54回大会発表論文集, 700 (1990)
松野隆則と連名
40. 誤解の心理(2) —文学にあらわれた誤解 東北心理学会44回大会, 東北心理学研究, 第40号, 81-82 (1990)
41. 文理解に及ぼす因果的結束性の効果(2) —眼球運動データを指標にして— 東北心理学会44回大会, 東北心理学研究, 第40号, 82-83 (1990)
沼山博ほかと連名
42. 文理解に及ぼす因果的結束性の効果(3) —眼球運動データを指標にして— 北海道心理学会・東北心理学会第7回合同大会 (東北心理学会第45回大会), 東北心理学研究, 第41号, 35-36, (1991)
沼山博と連名
43. 文章理解における統合過程 日本心理学会第55回大会発表論文集, s 47 (1991)
44. 文理解に及ぼす因果的結束性の効果(4) 日本心理学会第56回大会発表論文集, 878 (1992)
沼山博と連名
45. 誤解の心理(3) 東北心理学会第47回大会, 東北心理学研究, 第43号, 62 (1993)
46. 文書コミュニケーションにおける誤解の類型 日本心理学会第58回大会発表論文集, 895 (1994)
47. 誤解の心理(4) 東北心理学会第48回大会, 東北心理学研究, 第44号, 28 (1994)
金塚雅己と連名
48. 誤解の心理(5) —誤解解消困難の一事例— 東北心理学会第49回大会, 東北心理学研究, 第45号, 21 (1995)
多田美香理ほかと連名
49. 誤解の心理(6) —連想イメージと誤解 東北心理学会第49回大会, 東北心理学研究, 第45号 (1995)
大原貴弘ほかと連名
50. 誤解解消過程の事例分析 日本心理学会第59回大会発表論文集, 880 (1995)
51. 誤解の心理(7) —対面の効果— 東北心理学会第50回大会, 東北心理学研究, 第46号, 21 (1996)
大原貴弘ほかと連名

52. 誤解の構造 日本心理学会第60回大会発表論文集, 13 (1996)
53. 説明コミュニケーション場面での誤解 日本心理学会第61回大会発表論文集, 861 (1997)
大原貴弘ほかと連名
54. 知的対処能力の獲得について 東北心理学会第51回大会, 東北心理学研究第47号, 74 (1997)
加藤健二と連名
55. 問題解決の転移の訓練 ―類推的転移におよぼす抽象化訓練の効果― 日本心理学会第62回大会発表論文集, 898 (1998)
加藤健二ほかと連名
56. 誤解の心理(8) ―説明の聞き方と誤解― 東北心理学会第53回大会, (1999)
大原貴弘ほかと連名
57. 問題解決の転移の訓練 (第2報告) ―(その1)類推的転移におよぼすマッピング訓練の効果―および―(その2)インタビュー手法によるケーススタディー― 日本心理学会第63回大会発表論文集, 648-649 (1999)
加藤健二ほかと連名

